協会行事予定

9月28日～10月6日

9月28日（金）
地域医療対策部会20時。

9月29日（土）
臨床懇話会18時。川崎支部医科歯科連携研究会18時。

9月30日（日）
漢方セミナー10時30分。

10月1日（月）
地域医療学習会19時30分。

10月2日（火）
税対経営部会20時。共済部会20時。

10月3日（水）
医療事務講習会①14時30分。

10月4日（木）
税務会計記帳講習会14時。組織部会19時。歯科臨床研究会19時。

10月5日（金）
保険診療対策部会20時。

10月6日（土）
児童虐待予防対策研究会15時。

保険点数Q&A

（Q）在宅時医学総合管理料について、月2回の訪問診療の計画を立てましたが、今月は計画通りにいかず、月2回の往診となりました。往診のみなので算定できないのでしょうか？

（A）月2回以上の訪問診療の計画があり、結果的に訪問診療を行わず、往診を月2回以上行った場合は在宅時医学総合管理料を算定できます。

（Q）介護付き有料老人ホーム（特定施設）で同一日に複数の患者を訪問診療します。訪問診療料は「特定施設等入居者の場合」の400点を患者ごとに算定できますか？

（A）算定できます。介護付き有料老人ホーム・軽費老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅で、介護保険の指定を受けた特定施設（介護予防特定施設を含み、外部サービス利用型特定施設は除く）に入所中の複数名の患者を同一日に訪問診療した場合、訪問診療料は「同一建物居住者の場合」の「特定施設等入居者の場合」400点に該当します。

（Q）施設がグループホームの場合も、同日に複数名の患者を訪問診療する場合は400点を算定するのですか？

（A）グループホームは特定施設ではありませんので該当しません。「特定施設等に入居する者以外の場合」200点を算定します。

訃報

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

㊫簡野　正明氏（横浜市青葉区）

8月28日、ご逝去されました。享年72歳。

シネマ案内

『太平洋の奇跡 ―フォックスと呼ばれた男―』リーダーとは何か？

太平洋戦争下、激戦が繰り広げられたサイパン島でわずか47名の兵で、4万5千人の米軍を相手に巧みなゲリラ戦で翻弄し、〝フォックス〟と呼ばれ恐れられた大場栄・陸軍大尉の実話である。原作は、元米軍海兵隊隊員ドン・ジョーンズ著の『タッポーチョ「敵ながら天晴」大場隊の勇戦512日』。

1944年6月、太平洋戦争の末期、陸軍歩兵第18連隊、大場栄大尉（竹野内豊）は、当時軍事拠点として重要な位置を占めていたサイパン島に送られ、島の死守を命じられた。だが、この時点ですでに日本軍の敗戦色濃く、圧倒的な兵器・兵力差のもとサイパン島は米軍に制圧されてしまう。多くの日本兵が玉砕する中で、両親が殺され一人残された赤ん坊を助けることで、大場は自分も生きぬくことを決意する。もともと愛知県で教師であった彼の人望を慕い、多くの民間人や兵士たちが次々と集まってきた。大場は民間人を連れたまま、やくざ者の一匹狼・堀内今朝松一等兵（唐沢寿明）らと、サイパン島中部にそびえる最高峰タッポーチョ山に潜み、米軍への抵抗を続けてゆく。一方、日本への留学経験のある米軍のハーマン・ルイス大尉（ショーン・マクゴーヴァン）はわずかの戦力で神出鬼没の作戦を繰り広げる大場を〝フォックス〟と呼び、次第に畏敬の念を抱くようになる。

1945年8月のポツダム宣言受諾後も、その事実を知らず闘い続ける大場に対し、ルイスは、この男を死なせてはならないと画策する。

米国社会心理学者のJ・Kヘムプヒルはリーダーの条件として、①集団の目標達成を促進すること、②管理すること、③集団の活動を活性化し、模範を示すこと、④成員の集団内の地位について安心感を与えてやること、⑤リーダー自身の関心や利害に関係なくふるまうこと、の5点を挙げている。

玉砕こそが日本人魂と呼ばれた、太平洋戦争の中で最後まで、民間人と兵士の命を守り、生きることを選んだ大場栄大尉の統率力は、リーダーとは何かを改めて考えさせるものがある。

（横浜市金沢区・関口　武三郎）

「太平洋の奇跡 ―フォックスと呼ばれた男―」
監督：平山秀幸／2011年／日本／128分
DVD & Bru-ray 発売中：DVDスタンダード・エディション ¥3,675（税込）、DVDプレミアム・エディション ¥5,040（税込）、Bru-ray ¥6,090（税込）
発売元：バップ

一押し

フュージョンジャズからの橋渡し
ケティル・ビヨルンスタのピアノ
お勧めのCD“エピグラフ”

Epigraphs
ケティル・ビヨルンスタ
デヴィッド・ダーリング

「ケティル・ビヨルンスタ」というノルウェー出身ジャズピアニストのCDをお勧めしたい。

これはクラシックのピアノ音楽ファンに是非聞いていただきたい一枚である。というのは、フュージョンジャズというジャンルの音は実際どの様なものなのか知らないし、興味も無いというクラシックファンに、その橋渡しが出来る音楽を紹介するわけである。

このピアニストが演奏するCDは、ドイツECMというレーベルから発売されている。日本にはあまりなじみが無いレーベルであるが、ジャズのキース・ジャレットもここから出ているといえば、ジャズファンならば、「ああそうか」と言っていただける。

さて今回は、ケティルの「エピグラフ№1」というタイトルCDを聞いていただきたい。彼とチェリストのダーリングが共演、全体が静かな雰囲気に統一され、一曲目からまさに「この音楽、クラシックピアノでは？」と思わせるアルバムである。「ピアノクラシックファン」への「ヨーロッパフュージョンジャズ」への入門編として是非聞いていただきたい。

秋の夜長、月を見ながらこの一枚のCDで、静かな満ち足りた夜を体験してみては如何だろうか。

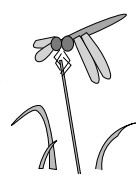
（横須賀市・福本　義克）

読者のひろば

「赤蜻蛉」

横浜市瀬谷区　矢崎　昌

灯台の立待月のひかりかな
秋霖に外灯細く灯されり
杉玉をみて蔵元に走りけり
下駄の音角を曲って良夜かな
赤蜻蛉汀（なぎさ）の匂ひつけて来る



新聞部では会員の皆様からの投稿をお待ちしております。お問合せは、協会新聞部（☎045-313-2111）までお寄せください。

〈主催〉神奈川県保険医協会・医療費の窓口負担「ゼロの会」